

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

広島市立牛田小学校

【GIGA×指導の工夫・改善】 デジタルツールを活用した協働的な文章作成と推敲～教師の介入と友達同士の高め合い～

＜考察＞

国語科「書くこと」の領域において、デジタルツールを活用して児童が文章構成と推敲の過程を協働的に進める学習活動を行いました。まず、複数の文章のまとまりをカード形式で分け、適切な順番で配置しながら文章の構成を考えました。自分の考えを整理し、どの順番で情報を伝えるかを意識して文章を構築しました。その後、推敲段階では、児童同士が文章を送り合い、互いに添削を行いました。友達が赤で改善点を指摘し、フィードバックを受けることで、文章の質が向上しました。この活動を通じて、児童は文章の構成力や推敲力を高めるとともに、他者との意見交換を行いました。また、デジタルツールを活用することで、児童全員の画面が教師のタブレット上に表示され、教師は児童が悩んでいる場合に迅速に支援を行いました。一方で、友達同士でのフィードバックが先行することで、児童は互いに高め合いながら学ぶことができ、自然な形で学ぶ姿も見られました。従来であれば、プリントを使って何度も書き直す構成段階や推敲部分も、タブレットを使うことで簡単に何度でも修正が可能となり、効率的に学習を進めることができました。実態に応じて手書きで行うことも認めており、その場合は手書きの作業においても教師がしっかりと見取り、児童に必要な支援を行うことの重要性を認識して取り組むようになっていきます。このように、デジタルツールと手書きを適切に組み合わせることで、効果的な指導が実現されています。



この話は町外れの円形劇場あとに迷い込んだ不思議な少女のモモが親友や子供達と楽しく暮らしていた所へ時間泥棒という男たちがやってきて人々の時間を奪い、奪われた人は怒りっぽい落ち着きのない人になってしまいます。モモがそれを止めるためマイスター・ホラと協力して奪われた時間を取り戻すお話です。

モモは勇気のある少女だと思います。なぜならモモが時間の国から帰った時、もし私だったら親友も子供たちもいなくて自分一人になったら時間泥棒から奪われた時間を取り戻すことを一人で諦めていたと思うからです。自分のためではなく仲間のためにどんなに自分が苦しくてもあきらめないで立ち向かっていくモモは勇気のある友達思いの少女だとおもいます。私は一学期の時に学級代表になりたいと思っていたけど、なれなかったら恥ずかしいなとかもし誰も票を入れてくれなかったらどうしようかと思ってしまって結局勇気が出せずに見ているだけになってしまいました。でも後で勇気を出してチャレンジして見たらよかったなと後悔しました。モモは命懸けだから私よりももっと緊張したと思うので私もこれからはすぐに諦めずに勇気を出して何事にも立ち向かおうと思いました。